



㊤ 60mハードル走男子 ㊦ 60m走男子
㊧ 走り幅跳び女子 ㊨ 走り高跳び女子



力いっぱい、記録に挑む

第51回町内小学校陸上記録会

「第51回町内小学校陸上記録会」は10月6日、北伊予小学校で行われ、町内の小学校6年生が力いっぱい競技に臨み、日ごろの練習の成果を発揮しました。

各種目の優勝者は、次のとおりです(敬称略)。

種目	氏名	学校名	記録
60mハードル走男子	天野 冴綴	岡田	10" 7
60mハードル走女子	菊池 愛菜	松前	11" 6
60m走男子	弓達 明陽	北伊予	9" 0
60m走女子	横田 糸唯	北伊予	9" 7
100m走男子	新谷翔空斗	松前	15" 9
100m走女子	玉井 花	松前	16" 4
ソフトボール投げ男子	大野 健真	岡田	52. 40m
ソフトボール投げ女子	塩崎 叶芽	岡田	50. 22m
走り高跳び男子	重川陽一朗	岡田	1. 25m
走り高跳び女子	下岡唯来乃	岡田	1. 12m
	渡辺 菜央	北伊予	
走り幅跳び男子	水口 瑛翔	北伊予	3. 67m
走り幅跳び女子	玉井 紗衣	北伊予	3. 42m
400mリレー男子	北伊予小学校		1" 00" 9
400mリレー女子	北伊予小学校		1" 00" 9



交通安全への願いを込めて 交通安全ポスターコンクール入賞作品

子どもの視点から見た交通安全メッセージを通して、交通事故のない安全安心なまちづくりを進めるため、「交通安全ポスターコンクール」を実施しました。

本年度は町内の小中学生から174点の応募があり、審査の結果、各賞に次の皆さんの作品が選ばれました。

▼町長賞



松前中2年
兵頭楽飛さん



▼町長賞



松前小4年
小林咲結さん



▼優秀賞

羽倉颯希さん(岡田中3年)、大野桃花さん(岡田中2年)、古川誉貴さん(松前中2年)、大石明依さん(岡田中1年)、小林来美さん(松前小6年)、高木希咲さん(北伊予小5年)、高岡俠丞さん(松前小4年)、高橋杏莉さん(松前小1年)



磐梯町の DX を学ぶ

福島県磐梯町佐藤町長が講演

10月5日、福島県磐梯町の佐藤淳一町長が役場に来庁し、職員に講演を行いました。DXとは、「デジタル・トランスフォーメーション」の略で、デジタル技術を活用して住民本位の行政を実現し、地域社会などを再構築する方法のこと。

佐藤町長は、「業務を効率化し、生み出された時間を住民サービス向上につなげることが大切」と話していました。

今後は、住民サービスの向上のためにデジタル技術を用いるなどして課題を解決していきます。



八束宏さんが受賞

日本スポーツマスターズ空手道競技に連続出場

「日本スポーツマスターズ 2022 空手道競技会」が、9月24日、岩手県で開かれ、八束宏さん＝西高柳＝が同競技会に20年連続出場したことにより表彰されました。

松前町スポーツ協会空手道部で、週2日子どもたちに空手を教えている八束さん。表彰を受けて、「丈夫な体に生んでくれた母や自分を指導してくれた先生、先輩に感謝している。今後も出場記録を伸ばし、子どもたちの指導にも一層力を入れていきたい」と話していました。



松前中学校新校舎の完成を祝って

校訓の書を寄贈

松前中学校後援会は、令和3年12月に松前中学校新校舎が完成した記念として校訓の書を同校に寄贈しました。

この書は、本町在住の書家、藤岡抱玉さんが校訓をしたためたもの。藤岡さんは、「校訓を守って、思い出深い中学生生活を送ってください」と生徒に向けてエールを送りました。松前中学校生徒会長の矢野結楓さんは、「校訓のとおり、11月に開催する文化祭をみんなで協力して盛り上げたい」と意気込んでいました。



▼ 藤岡さん



合田壱星さんが8位入賞

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」は9月19日、栃木県で会期前競技が行われ、競泳少年男子A50メートル自由形で合田壱星さん＝西高柳＝が8位入賞しました。

「決勝には進めたけど、呼吸のタイミングがずれて焦ってしまった。ミスしたと思ってかんでしまい、思った通りの結果が出せずとても悔しい」と振り返る合田さんですが「今後も水泳を続けて、勉強と両立させたい」と話していました。



日本代表候補選手を選出

ジュニアユースホッケー日本代表チーム女子

「令和4年度U-15ジュニアユースホッケー日本代表チーム女子選手選考会」は9月23～25の3日間、松前町国体記念ホッケー公園ホッケー場で行われ、全国から集まった中学生62人が日頃の練習の成果を披露しました。リズムトレーニングやゲームによる選考の結果、選ばれた30人は、12月3、4の両日、滋賀県米原市で開催されるオールスター戦に出場します。

本町からも、松前中学校3年生の古川嘉音さんが見事選出。家族が喜んでくれて幸せを感じたという古川さんは、「ミスをして少し悔いもあったけど、仲間への声掛けを大切にすると雰囲気づくりを頑張った」と仲間でありライバルでもある他の参加者のことも気に掛け、ゲームでは2回もシュートを決めました。「代表として、誇りに思ってもらえるように今までの練習の成果を出したい」とほほえみ、持ち前の負けん気でオールスター戦に臨みます。



オールスター戦では、必ずシュートを決めます！



差別のない社会を目指して

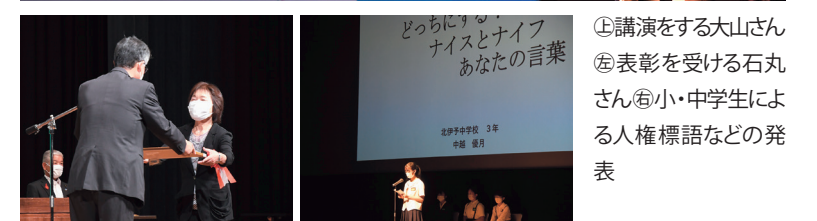
2022 明るい人権の町づくり大会

「2022 明るい人権の町づくり大会」は10月8日、文化センターで行われ、約200人が参加しました。

開会行事では、人権・同和教育の推進のために尽力した前松前町人権教育推進講師の石丸幸子さん＝筒井＝が松前町人権教育協議会表彰を受けました。

その後、町内小・中学生による人権作文や人権啓発ポスター・標語の発表が行われ、それぞれが制作への思いを紹介しました。

続いて、元バレーボール日本代表選手として活躍した大山加奈さんが、自らのバレーボール人生での経験を基に講演。「人やチームをつなぐためには全員が当事者意識を持ち、自分事として考えることが大切。互いの立場に関係なくリスペクトし合える関係を築くことが必要です」と訴え、参加者の皆さんは、大山さんの栄光と挫折の経験に基づく言葉に真剣に聞き入っていました。



⑤講演をする大山さん
⑥表彰を受ける石丸さん
⑦小・中学生による人権標語などの発表